

2016年  
2~3月

# 福岡県連協活動報告

福岡県学童保育連絡協議会

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園2丁目4-22  
TEL093-662-6000・FAX093-662-6006  
E-mail gakuforen@fukuoka-gkd.jp  
発行・福岡県学童保育連絡協議会



福岡県学童保育連絡協議会（以下、福岡県連協）に加盟して下さっておられるクラブ・個人・賛助会員の皆様、併せて働きながら子育てする保護者の皆様、そして支援員と共に日頃よりご尽力して下さっていることに感謝し、合わせて県連協へのご協力ありがとうございます。

以下、1～2月の活動報告を行います。

## 1/17 PM13:30～ 第5回役員会

<事務局報告>

- ・第41回全国学童保育指導員学校準備会報告
- ・第34回福岡県学童保育研究集会の準備状況
- ・地域情報や 相談業務等

<12月全国運営委員会報告>

<協議事項>

- ・県や、県議会議員等との懇談を予定し日程調整を行う。県研究集会の案内、認定資格研修について、主任放課後支援員の常勤化への働きかけ、厚生労働省からの説明会開催への働きかけなどを行う予定。
- ・県連の財政問題と課題について検討しました。

1/24 AM10:00～ 第2回運営委員会開催予定でしたが、記録的大雪のため運営委員の皆様の安全を重視し中止させていただきました。

日程の調整を行い、2回運営委員会は2月14日の午後13:00からクローバープラザにて開催いたしました。

## 1/27 県子ども子育て支援課との懇談

今年度から開催された放課後児童支援員認定資格研修への見解、主任放課後児童支援員の配置と常勤雇用願いの市町村への働きかけ、支援員現任研修の必要性と市町村への働きかけ、マイナンバー制度についての情報、厚労省からの説明会開催願い、第34回県研究集会案内、他県連協の活動、事業理解と協力願い、出前研修の必要性など、約1時間半、盛りだくさんで懇談を行いました。

厚労省からの説明会については、「今厚労省の方に3月開催予定で日程の調整を行ってもらっているとのことでした。開催に当たり、自治体担当課だけではなく運営者も参加できるように検討していただきたい。」とお願いしました。

新制度施行により放課後児童クラブは市町村事業となり、子ども・子ども子育て支援事業行動計画に基づき、子育て支援が行われています。市町村が放課後児童クラブ事業に真剣に向き合い、よりよい環境を作ることで、幼保から引き続き子どもたちの環境を守るといえるのではないのでしょうか。

福岡県連協は、この視点を重点項目として今後も働きかけていこうと思います。

## 2/6~7 全国学童保育連絡協議会運営委員会

1、学童保育をめぐる情勢と運動の課題／2016年度予算案の概要／放課後児童支援員認定資格研修について／東日本大震災の状況と支援の課題／第50回全国学童保育研究集会報告と第51回愛知県会場からの準備報告／日本の学童ほいく誌／5月合宿研の内容等が主な内容でした。

◎厚労省と文科省が共同で策定した「放課後子ども総合プラン」を推進するという方針は変わりませんが、「一体型の留意事項」として、放課後児童クラブは基準を満たして「生活の場」の確保するという観点がこれまで以上に明確に示されています。

◎放課後児童支援員認定資格研修について、各県様々な問題や課題が残り全国共通の質の確保に至らなかったという状況だった。

◎放課後児童健全育成事業に係る Q&A（更新版、2016.1.19 自治体送付）について、一支援の単位を構成する『児童の数』の算定についての説明がなされていますが、週の利用日数により算出の仕方等が表示されていますが、「継続して利用することを前提に申し込みをした児童」と明記しており、「事後の利用実績にはよらない」となっています。要は、何日利用しようと学童保育を利用する為に申込、毎月保育料を収めている人数ということです。このことは自治体に働きかけ説明することが大事です。

◎新制度になり、市町村では基準に添って整備されなければならないのですが、未だ未だ理解がなされていないことで国の対策事業を得ず今までの形態が継続されている様子が伺えます。それに対し厚労省は要請があれば県単位で説明を行うとしています。

この県に関しては、福岡県は現在説明会開催に向けて厚労省に要請をかけています。

## 2/14 PM13:00~ 第2回県連協運営委員会

<事務局報告>

第41回全国指導員学校準備会報告

- ・全体講義 <宮里 六郎> (熊本学園大学)  
「子どもにかかわるときに大人が大切にしたいこと (仮題)」
- ・講座内容と担当地域について

第34回福岡県学童保育研究集会実行委員会最終確認

<12月全国運営委員会報告>

<協議事項>

- ・県連協財政と会費値上げについての提案
- ・加盟会員の拡大、日本の学童ほいく誌拡大のとりくみ

<地域交流>

日田市放課後児童支援員学習会の一つで、約70名の支援員さん方に、安全対策と危機管理についての学習会を行ってきました。自分の学童の環境に合わせて安全対策を行う事と、子どもが自ら危険を回避できるように環境を整えることが大事と説明。他にも、避難訓練等も行い、子どもたちの安全な環境、安心して生活出来る環境を整えることが大事ですと話してきました。参加した支援員さん方が、とても真剣に聴いてくださいました。

## 2/28 第34回福岡県学童保育研究集会開催

福岡県学童保育研究集会（2016年2月28日 春日市クローバーにて開催）

《学童保育は共同の子育て！変わらないものは命の輝き》

◎記念講演：市川光太郎 氏（市立八幡病院院長）『子どもの命と虐待』



参加者、後援をして下さった自治体、実行委員、当日参加し、お手伝いしていただいた方、みなさまの協力で研究集会を成功させることが出来ました。ありがとうございました。

・記念講演は、市川光太郎 氏（八幡市立病院 小児科センター院長）でした。今、社会問題になっています「児童虐待」についてスライドを観ながらの講演。目を覆うような場面もありました。これも児童に対して現に起こっていることと受け止め、多くのことを考えさせるものでした。

・分科会は、やはり発達障がいに関する事、子どもとのかかわりの分科会は参加者が多くなりました。支援員の方の悩みが多く感じられている現れではないでしょうか。

・学童保育の現状はまだまだ多くの課題があります。県連協は、支援員、保護者との連携で学童保育の質が高められる様、学習の機会や交流の場を通して共に将来ある子どもたちに寄り添って発展させていきたい。この思いを共有し、皆さんの協力を今後ともお願いします。

参加者は430名・東日本大震災募金 31,604円でした。

ありがとうございました。

日本の学童ほいく誌！2月号のみどころ(#^^#)  
子どもたちの作文やイラストをお寄せ下さい！！

### <2月号の見どころ>

毎年2月号は、全国学童保育研究集会報告です。今年度第50回は大阪での開催でした。子どもたちの歓迎行事・記念講演の中西新太郎氏の「人と人のなかで生きていくということ」大震災後の東北3県からの報告・各分科会報告などが記載されています

併せて、子どもたちの作文や絵などをたくさん送ってください。ほいく誌に我が学童の子が載っ

たとなれば『読んでみようか！！』ということにもなります。

この本は、学童保育に関わる保護者、支援員が編集委員となり、真剣に検討し合い、関係者や専門家もちろん保護者や支援員が毎月心を込めて作り上げています。

是非、購読してくださることを勧めます。そして私たちと共に♡

### 第41回全国保育指導員学校<in九州>

2016年5月29日(日)春日市クローバープラザ

改めてご案内申し上げます。皆さまの参加をお待ちしています

<m(\_)\_m>

### 第34回福岡県学童保育研究集会 感想

こんにちは！支援員のリンです。

第34回県研究集会、お疲れ様でした。記念講演の市川先生の「命と虐待」の話は衝撃的でした。子どもを死にまで至らせる親の虐待は弱者への攻撃であり、人間的な感情を麻痺させています。いろんな事例の説明を聞き、なんで…！と絶句してしまいそうでした。

今更ながら保育教育関係機関は日々の変化を観察できる場です。特に学童保育は子ども達が本音でぶつかってきます。子ども達を温かく受け止めながら、心の不安定さを見過ごさないようにキャッチする事で早期発見できるかもしれません。また、保護者の悩みや相談等の変化にも見落としがないようにしておく必要があります。何らかの変化を感じた時にはその地域の関係機関と連携を取り合っていきたいものです。

今回、医療現場では被虐待児が受診しないと発見できなかった悲惨な事例の報告でしたが、市川先生は子どもを預かる現場に携わる者への警告として知らせてくださいました。

教育や保育は現場を任された者だけが担うのではなく、日常の何気ない変化を保護者にも伝え、子供の成長を一緒に見守っていけるように、共同の子育てをしていく事が何物にも代えがたいと思いました。

今回、共同の子育ての場としてこの研究集会を企画し、準備に携わってきた実行委員の皆様には、ご尽力いただき感謝いたします。